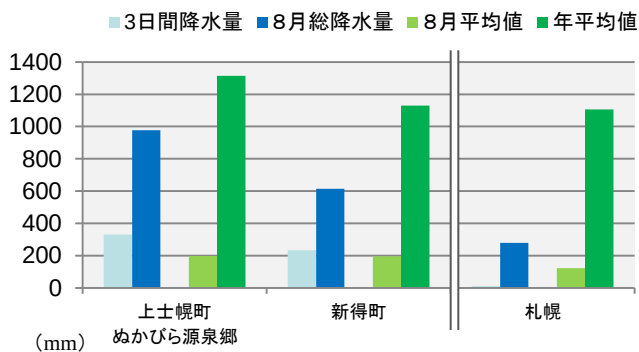


十勝西部森林管理署東大雪支署 総務グループ 齋藤 諒介
業務グループ 本間 伸一郎

台 風 概 要

平成28年8月に相次いで発生した台風及び前線に伴う降雨の影響で、北海道では記録的な大雨となりました。

特に降水量が多かった8月29日から31日の三日間で、東大雪支署管内では8月平均以上の降水量となりました。(右図)



平成28年8月29日から31日及び8月の降水量
比較として8月平均値及び年平均値と札幌の降水量

管内被害概要

大雨の影響で幹線道路5路線が通行止めとなり、地域住民及び交通網に多大な影響が出ました。

また、東大雪支署の林道の8割が被災し通行止めとなり、土砂崩れなどの山地災害も見られました。

災害対応体制

自治体
関係機関

要請

協議・対応

森 林 官

調査指示

状況報告

東
大
雪
支
署

迅速な対応の
心がけ
背 景

日頃から自治
体や関係機関
と密な連携



現地調査



ヘリ調査



林道被災
マップ

事例①(清水谷林道)

清水谷林道清流橋の橋台が被災し、上士幌町の生活用水供給施設まで車両による点検管理ができない状況となりました。

現地確認の結果、橋梁の架替工事を進めていく方針を固めました。町から工事中においても車両通行確保の要請があり、迂回路と仮橋の設置について迅速に対応しました。

調査設計から工事終了後の2年間、車両通行が不可となるところ、被災から2ヶ月後の11月1日に仮橋を設置し林道を開通することができました。本工事は平成30年1月に完成予定です。



橋台被災後



仮橋設置後

事例②(狩勝峠)

新得町内
国道38号線
の路体が決
壊し通行止
めとなりま
した。

重要な幹
線道路であ
り早期復旧が必要であったことから、帯広建設管理部と協議し、保安林内緊急伐採及び行為にて工事実施することに確認同意しました。

通常、保安林解除から工事着手まで1年近くかかるところ、手続きを事後に行うことにより、11日間で仮復旧することができました。



狩勝峠被災地

総 評

日頃から全職員が自治体及び関係機関と情報共有を図っていたことで、災害初期段階から協議することができ、迅速な対応につながりました。